

令和3年度 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想部会に関するアンケート結果

○アンケートの趣旨

平成28年1月に「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会」を設立し、平成30年3月「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想」（以下、まちづくり構想と言う）を策定。その後、地域毎のアクションプラン策定に向け取り組んで頂いているところですが、来年度以降のまちづくり構想部会の進め方等の参考にしたいので、次のアンケートにご協力をお願いします。

問1

「まちづくり構想」の地域への浸透（認知度）についてお尋ねします。

平成30年3月に策定された「まちづくり構想」について、地域での浸透（認知度）としてあてはまるものを次の中から選択してください。

| | |
|------------------|---|
| ①良く浸透（認知）されている | 0 |
| ②まあ浸透している | 0 |
| ③どちらでもない | 3 |
| ④あまり浸透（認知）されていない | 5 |
| ⑤ほぼ浸透（認知）されていない | 3 |

問2

まちづくり構想部会の活動についてお尋ねします。

まちづくり構想部会で議論いただいている内容について、地域での会合等の場で活動報告していただいていますか。あてはまるものを次の中から選択してください。

| | |
|--|---|
| ①毎回報告している | 0 |
| ②SNSで周知している | 0 |
| ③たまに報告している | 3 |
| ④役員にのみ報告している | 6 |
| ⑤報告していない 【理由：何をどの様に報告したら良いのかわからない。毎回抽象的なので。 会う機会がないため】 | 2 |

| 問3 | |
|---|---|
| アクションプランの策定状況についてお尋ねします。 | |
| 地域毎のアクションプラン策定に向け、各地域での進み方（進捗）について、次の中から選択してください。また、その理由について記述をお願いします。 | |
| ①アクションプラン策定に向け順調に進んでいる | 4 |
| ②アクションプラン策定に向け順調に進んでいない | 7 |
| 【理由】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域（地活協）に下ろすことが出来ていないと思われる。 ・コロナ禍もあり話し合える機会が持てない ・地域で報告していないので、この課題で地域の方々に意見を聞けない。 ・進んでいるとも進んでいないとも言えない。コロナ禍で以前のように活動ができていない。 ・新庄地域はすでに策定済みなので、行動を起こす時期に来ている。 ・ワークショップなどを行ったので。 ・新型コロナにより、ワークショップ等の会合が開催出来ていない。グループラインでの対応をしていますが、コロナ禍で中々、先が見通せないという事もあり、進捗は芳しくない ・コロナで集まりが持ちにくいから ・問題意識を共有しています ・アクションプラン策定の話提供の難しさがある。コロナ禍において、会議そのものをできるだけ短時間に、協議よりも報告を優先して行われる中で、なかなか議題としてあげにくい状況がある。 ・コロナ禍におけるイベント等の中止ならびに役員会減少の為 | |

| 問4 | |
|---|----|
| アクションプラン策定に関してお尋ねします。（複数回答可） | |
| 今後、アクションプラン策定に際し必要と感じていることについて、あてはまるものを、次の中から選択してください。 | |
| ①地域活動協議会の協力 | 10 |
| ②地域振興会の協力 | 8 |
| ③行政（区役所）の積極的な関与 | 7 |
| ④専門家による支援 | 4 |
| ⑤その他（具体的に：ある種のテンプレート。穴埋め問題のように、設問に答えていくとおのずとアクションプランのベースとなるようなシート。） | 1 |

問5**事務局に関してお尋ねします。**

今後、アクションプラン策定に際し、計画の策定に関する作業（計画素案の作成など）を事務局がより積極的に行うべきでしょうか。また、事務局にはこのような作業をして欲しいという要望がありましたら記述をお願いします。

| | |
|--------------------------|---|
| ①より積極的に行うべきである | 3 |
| ②ワークシートの提案等、現状のレベルが良い | 5 |
| ③行うべきではない（地域のペースに任せて欲しい） | 3 |

【事務局への要望】

- ・地域のペースに合わせて積極的な関りが必要
- ・コロナ禍で通常の会議が行い難い環境下でのアクションプラン、しかも、今までの地域活動が平時のように行う事すら難しく、次年度の盆踊りすらどうなるかわからない中でアクションプランと言われても、本当に難しい。進めるためには地域任せにはできない。かなり踏み込んで、各地域にお世話頂かないと進まないのでは。このお世話とは、例えばワークショップの参加者・スケジュール調整等まで含む、それぐらいのお世話
- ・地域毎で考え方があったり、優先的に進めて行きたい事業や内容は異なります。アクションプラン策定等は、どうしても後手になる内容です、今しないといけない、すべき課題の方に注力してしまうし、注力すべきだと思われます。限られた時間の中で現役世代メンバーが中心で動いているので、なかなかアクションプラン策定に費やす時間がありません

問6**「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（部会含む）」についてお尋ねします。**

まちづくり協議会（部会含む）の有効性（必要性）について、あてはまるものを、次の中から選択してください。また、その理由について記述をお願いします。

| | |
|------------------|---|
| ①とても有効（必要）であると思う | 1 |
| ②まあ有効（必要）であると思う | 5 |
| ③どちらともいえない | 2 |
| ④あまり有効（必要）とは思わない | 1 |
| ⑤有効（必要）とは思わない | 2 |

【理由】

- ・どのように地域を巻き込んだ議論ができるのか、全く見通しを立てられません。まちづくり協議会にも、地域にも申し訳ない気持ちでいっぱいです。
- ・地域に持ち帰っても上手く伝えれない。伝わらない。理解してもらえないように思う。
- ・数年進捗がないから。

- ・地域・行政・民間共同でまちづくりを進めていくことは重要である
- ・ほとんど西部地域に関連していないから
- ・より良いまちづくりのため。
- ・阪急高架工事に関わる、土地の有効活用を前提とした、地域の高齢者や子供達の為に、具体的な道筋をつけてあげたい
- ・他地域との交流
- ・住民参加を促進するうえで必須
- ・バリアフリーまちづくり構想を策定・周知・活用するという目的において、この部会の有効性は？と聞かれると、それほど有効ではないと思う。が、この部会によって、リアルタイムな地域間の情報共有であったり、コロナ禍における地域活動のあり方の検討であったり、まちづくりの観点からは大変貴重な場となっていると思う。今、早急に取り組むべき話題が、バリアフリーよりもコロナ対策だと思ってしまうから、辛さがある。
- ・過去数年にわたり実施してきたが、何を目的(ゴール)にしているのか、いまいち見えて来ない。

問7

令和4年度の部会の進め方についてお尋ねします。

1月の部会ではこれまでとは形式を変え地図を用いた情報交換を行いました。次年度以降の進め方としてご意見をお聞かせください。

【自由意見】

- ・今のままではいけない、という焦りはありますが、どこから手をつけていいのかわかりません。正直、自分の立ち位置を見失っています。
- ・1月の部会の開始時点で、今までの話題が記入済みであって欲しかった。イチから再スタートという感じを演出するならば白紙の地図は効果的だが、ここで欲しかった地図は真逆。今までやってきた議論の積み上げを目に見える形に残して欲しい。使うツールは間違っていないが、使い方が真逆。来年度以降も、今までの積み上げ、議論の履歴、地域のデータ等を追記していく事を意識して頂ければと思います。